

山形テルサ施設貸出に係る新型コロナウイルス感染防止策に関する確認書

【1 基本的な感染防止策】

- ・マスクの常時着用への奨励 ・大声を出さないことの奨励 ・手洗いの徹底 ・十分な換気
- ・相互の社会的距離の確保 ・密集の回避 ・演者の行動管理 ・主催者側による施設内の消毒、消毒液の設置 ・参加者の制限（入場時の検温実施：平熱と比べて高い発熱がある場合等には自宅待機等の対応をとる）
- ・参加者の把握（名簿を作成し概ね1カ月間保持、厚生労働省の接触確認アプリや各地域の通知サービスの活用） ・催事前後の行動管理 ・飲食用に感染防止策を行ったエリア以外での飲食の制限 ・大規模イベント（5,000人超）は、事前に収容率制限なども含めて県と相談

※収容率50%を超える催物を開催するための前提

- ・大声を出さないことの担保 ・マスク着用の100%担保

【2 各種ガイドライン等の遵守】

- ・新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針（国）
- ・イベント等の開催に関する基本方針（山形県）
※「イベント開催時のチェックリスト」を作成し公表するとともに、1年間保管すること。
- ・劇場、音楽堂等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン（(公社)全国公立文化施設協会）
- ・業種ごとの感染拡大予防ガイドライン（(一社)全日本合唱連盟、(一社)全日本ピアノ指導者協会等）
※各種ガイドライン等は、新型コロナウイルス感染状況等に応じて都度更新されていますので、ご利用日における収容率などの諸条件の遵守をお願いします。

【3 収容率】

- ・大声での歓声、声援、唱和などがない催事。
必要となる感染防止対策を総合的に講じた上で、収容定員までの配席数（収容率100%以内）
(重要)収容率50%を超える場合は、【1 基本的な感染防止策】全ての徹底が前提です。
- ・大声での歓声、声援等がある催事。
マスク着用と発声の抑制の周知及び主催者による個別注意など、**【1 基本的な感染防止策】の他、必要となる感染防止策を総合的に講じた上で、原則として収容率50%以内としてください。**

【4 主催者に求められる具体的な感染防止策】

- ・客席の最前列席は、舞台上（演奏位置等）から各種ガイドラインに沿った十分な距離を設けてください。
- ・公演主催者及び公演関係者は、その表現形態に応じて、出演者間で最低1mを目安とした十分な間隔をとるなど、可能な限り感染防止に努めるようにしてください。
- ・機材や備品、用具などの取り扱い者を選定し、不特定者の共有を制限してください。
- ・各所に設置している二酸化炭素濃度計の値1,000ppm以下を目安として、十分な換気を行なってください。

【5 飲食の制限】

- ・発声がないことを前提に、飲食時以外のマスク着用担保、会話が想定される場合の飲食禁止、十分な換気等、一定条件を満たす場合に限り、食事可。
- ・ケータリングにおいては、使い捨ての紙食器を使用するなど、感染防止対策を十分に講じてください。
- ・施設共用部分については、飲食禁止とします。

【6 注意事項】

- ・新型コロナウイルスの感染状況次第では、利用を中止することがあります。
- ・貸館を中止した場合に生じた損失については、補償しません。

【7 山形テルサの主な取り組み】

- ・貸出備品として、各種アクリルパネル（有料）や非接触型検温器（無料）を準備しています。
- ・機械換気設備による空気循環等を強化しています。
- ・東西入口にアルコール消毒液、非接触型検温器を設置しています。
- ・施設、貸出備品等について適宜消毒を実施しています。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、私（当団体）は、山形テルサを利用するにあたり、山形テルサ施設貸出に係る新型コロナウイルス感染防止策に関する確認事項を遵守します。

申請者(団体名) _____

氏名又は代表者 _____

担当者(責任者) _____

遵守いただけない場合は、使用許可を取消することがあります。

提出日時 令和 年 月 日

【収容人数】

イベントの性質	大声での歓声・声援等がないもの	大声での歓声・声援等があるもの
施設名	最大収容人数	
テルサホール	806人	403人
アプローズ	400人	200人
〃（大）（スクール形式）	96人	48人
〃（小）（スクール形式）	72人	36人
研修室 A	60人	30人
研修室 B	54人	27人
交流室 A	40人	20人
交流室 B	56人	28人
〃（大）	40人	20人
〃（小）	16人	8人
特別会議室	18人	9人
会議室	30人	15人
リハーサル室	85人	42人
大会議室	100人	50人